広報
さわおとのもり

平成２６年　７月　　**第１４号**
発　　行：特定非営利活動法人さわおとの森
発行責任者：理事長　清 野　精 維
編　　集：広報係　二 科　壮 太
〒981-0123　宮城郡利府町沢乙字欠下東１８番２
Tel：022(767)4338　　Fax：022(767)4347
ホームページアドレス：　http ://sawaoto.jp

榆木正俊 理事長を偲んで

副理事長　高橋　繁夫

特定非営利活動法人さわおとの森の設立者である榆木正俊理事長が今年１月３０日に永眠いたしました。その功績を紹介いたします。

榆木理事長は宮城県福祉事業団（現宮城県社会福祉協議会）に長く勤めておられたのですが、平成１０年にいったん退職をして七ヶ浜の地元に通所施設を立ち上げようとした経緯があり、その頃から地域の障がい者に対して何か出来ないかと考えておられました。事業団退職後の平成１７年１月末、榆木理事長と昼食を共にしていた時に「もう通所施設は立ち上げないのですか。」と私が聞いたところ、「今から一緒にやっても良いぞ。」の一言がさわおとの森設立の始まりでした。

さわおとの森開園当初は一事業所８名のみの職員から始まったのでしたが、障がい児のサービス施設は当時あまりなく、運営的にも難しく何度もつまずきそうになったのですが、その都度榆木理事長はリーダーシップを発揮して、いつも優しくアドバイスをいただき、職員はいつも勇気づけられていたことを覚えております。現在では三事業所６０余名の職員となり、ここまで大きくなったのは榆木理事長の法人に対する強い思いと、利用者に対する温かな思いやり、職員に対しての信頼があったからだと思います。職員みんなを信頼して待遇改善も積極的に行ってきたからこそ職員もやる気が出てきたのです。

しかし、いくら大きな法人になっても、支援に当たる職員の意欲的な姿勢や謙虚でひたむきな心構えが変わらぬよう、榆木理事長が作られた「特定非営利活動法人さわおとの森基本理念」は、利用者支援の基本的な心構えとして今では職員の意識の根幹となっております。

また、当法人は昨年７月に宮城県から認定 NPO 法人の認定を受けました。これは、NPO 法人の活動が地域の方々から大きな信頼を受けた証しであり、地域住民から厚く信頼を受けている榆木理事長の功績であります。

昨年５月からの入院闘病中でも仕事の相談でメールを送るとすぐ返答を頂き、いつも気遣っておられた榆木理事長。今年の１月に急に体調を崩され再入院し、その入院中にご自分がとても大変だったにもかかわらず、ベッドの上でパソコンを手に次年度の体制や新しい事業の構想を練られ、最後までさわおとの森のことを気遣っておられました。

特定非営利活動法人さわおとの森設立者である故榆木理事長のこれまでのご貢献とご協力に心から感謝と敬意を表し、今後とも、天上からさわおとの森を見護りくださるよう祈念致し、惜別の言葉と致します。

新役員・正会員体制となりました

榆木理事長の逝去に伴い、役員の変更がありましたことを下記のとおりお知らせ致します。

理 事 長	清野　精維（㊝）	正会員	田中　武司	正会員	岡　　里美
副理事長	高橋　繁夫	〃	吉田　君子	〃	榆木百合子（新）
〃	齋藤　純子（㊝）	〃	袴田　洋子	〃	伊丹　正美（新）
理　　事	菊地喜久男	〃	鈴木　和子	〃	山田　裕子（新）
〃	榆木　泰教（新）	〃	鈴木　俊龍		
監　　事	村上　晃嗣（㊝）	〃	安野　純子		
〃	板橋　敏子	〃	川崎　由里		

～ 理　事　長　挨　拶 ～

青葉若葉の茂れる清涼な季節とはなりました。初めまして、今年３月から榆木正俊理事長の後任を勤めさせていただいている清野と申します。榆木前理事長とは県の福祉職関連者として、又、僧侶の住職同士として４５年間位、月二～三回、一回５～６時間のお付き合いを繰り返してきましたが、全ては息抜き分野の事で、ただただ長いだけの淡々としたご縁でございました。

そんな中での平成１７年、本法人の創設にあたって監事になるように言われ軽い気持ちで引き受けたものでしたが、彼の人の施設運営にかける情熱は軽々なものではなく、その旺盛な行動力と当位即妙の決断で、当初一施設８名の職員の運営だったものが、８年後の今日では、三施設６０余名の職員に増大し、大発展の充実した組織構えとなっております。

そんな経過のうちでの偉大な人の急逝であり、私にはこのような大組織の運営は荷が勝ち過ぎると辞退を繰り返したところでしたが、臨床発達心理士やＯＴ，ＳＴを始めとして熟達の専門スタッフが揃っているから何も心配いらないと重ねて諭され、高齢、難聴にも拘わらず、ほんの暫定と云うことでお引き受けした次第です。

「さわおとの森」が目指すところは「子どもたちが地域社会にあって生活する力、自立する力を涵養し、支援してゆくこと」という彼の人の箴言を衷心に置き、地道に取り組みを始めたいと思っております。

尚、今年については、黒川地方の皆様からの要請を受け、富谷町明石台に仮称「こども発達センターあかいしの森」の施設設備を計画しておりますが、国、県の補助金内示も頂いたことから、富谷町の多大なご支援のもと近々建設業者の入札選定に入り、来年２月の竣工を目指し建設事業を進めていきたいと考えております。この事も含め、今後ともご理解ご支援頂きますようお願い申し上げ就任のご挨拶と致します。

Ｈ２６.５.１６　　清野 精維

多機能サポートランド さわおとの森

どんぐりクラブ

２６年度のどんぐりクラブがスタートしました。職員６名のうち４名の異動がありましたが、新顔の職員に子どもたちも保護者の皆様も、慣れ始めました。職員自身もどんぐりクラブでの活動をなんとか覚え、軌道（？）にのりつつあります。

日ごろの活動をちょっと紹介します。最近のどんぐりクラブは春の個別面談がおわり、個別支援計画が出来てきました。この計画をもとに、目標を持って日々活動しています。朝の個別課題は、登園後すぐに行われ、子どもたちの持っている力を引き出し、集中力をつけるために行っています。まだまだスムーズに出来ない事もありますが、子どもたちの得意なことはもっともっと出来るように、苦手な事は少しずつ出来るように一人ひとりに合わせた課題を用意しています。

また、季節に合った行事やお誕生会など楽しい活動もあります。こんな楽しそうな？どんぐりクラブは、母子通園なのでママたちにもたくさんご協力いただいています。ママパワーが全開になってくれるように職員一丸となって、がんばっていきますので、今年度も宜しくお願い致します。

課題をする場所

お花見は加瀬沼公園に行きました

大好きな粉あそび

放課後等デイサービス　くるみクラブ

くるみクラブは５６名の方が利用しています。今年度より普段の活動の他に個別課題を取り入れ、デイ活動をより充実したものにしていきたいと思っています。

４月の活動では、お花見に出掛けたりさくら餅を手作りしたりと、春を満喫しました。５月は学校の行事に合わせミニ運動会を開催しました。また、こいのぼり制作や母の日にちなみフラワーアレンジメントにも挑戦しています。活動に楽しそうに参加する姿や、集中して取り組む姿に、喜びを感じております。

４月からくるみクラブに川口真奈美さん、早坂祐二さん、蜂谷由美子さんが新しく加わりました。新メンバーと一緒に、楽しく様々な経験・体験ができるよう支援していきたいと思います。よろしくお願い致します。

この１２名で、
頑張っていきます

イオン「幸せの黄色いレシートキャンペーン」に参加

感謝

今年も「幸せの黄色いレシートキャンペーン」に参加させていただきました。

ご利用者と職員が一緒に利府店に足を運び、黄色いレシート投函のご協力を呼びかける店頭活動を行いました。

お陰様で、今年も地域の皆様からたくさんのご協力をいただき、活動に必要な物品を購入することが出来ました。改めて、イオン株式会社様並びにご協力いただいた皆様へ感謝申し上げます。

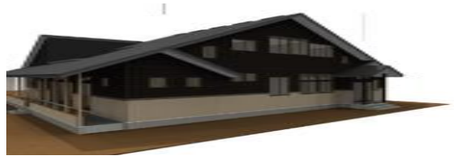
今後とも、毎月１１日に利府店にてお買い物をされる機会がありましたら、黄色いレシート投函のご協力をお願い致します。

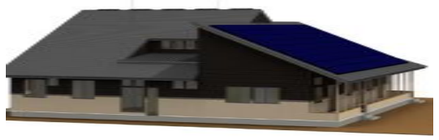
児童発達支援センターの建設間近

昨年の広報紙でお知らせしていました富谷町に設立する児童発達支援センターですが、名称を『(仮称）**こども発達センターあかいしの森**』と致しました。建設場所は富谷町より無償貸与して頂いた明石台７丁目（若葉保育園さんの北側）で、施設整備費国庫補助の交付も決まり、６ 月下旬頃に入札を経て７月着工予定、来年１月に建設を終了し、来年４月から事業開始の予定であります。

事業内容は下記のとおりを予定しております。対象地域は黒川郡全域となります。

事業名	事業内容・定員
児童発達支援センター	未就学児対象の親子通園と単独通園での療育・発達支援を行います。臨床発達心理士や作業療法士等の専門職の支援も実施致します。 定員は３０人（当初は２０人）。
放課後等デイサービス	学童児対象で放課後や長期休み時に通園しての療育・発達支援を行います。 定員は１０人（当初は５人）。
保育所等訪問支援	障がい児等が通う保育所や幼稚園や学校等に臨床発達心理士や作業療法士等が訪問して、そこのスタッフへ専門的なアドバイスを行います。
障害児相談支援	地域で自立した生活が送れるように生活全般の計画を作成する「障害児支援利用計画」を作成し、各種サービスにつなぐ事業です。





完成予想図

発達支援ランド あのねの森

あのねの森が利府町の西天神に事業所を構えてから、はや５年目を迎える事ができました。地域の皆様から常に温かいご支援とご理解をいただきながら、この地で活動できる事を幸せに思っております。

児童発達支援のあのねキッズでは母子通園の中で、子どもたちの持っている力をどうしたら引き出し発揮していけるかを一緒に考え、目標を立てて取り組んでおります。お母様同士が情報交換をしながら悩みを打ち明けあったり、一緒に勉強会に参加したりする中で少しずつ障がい受容をしていく姿に母子通園の本当の意味と大切さを痛感しております。

放課後等デイサービスの学童では狭い環境の上、立派な遊具など置く事は出来ませんが、その分、人的環境でカバーし子どもたちの満足度を高める為、１人１人のペースにじっくりと寄り添い、時には子どもも職員も汗だくになりながら楽しい時間を過ごしております。

沢山ある事業所の中から選ばれる法人さわおとの森であり、あのねの森でありたいとの思いで日々の活動に取り組んでおります。

～　あのねの森　園長　山田 裕子　～

放課後等デイサービス（学童）

学校に通っている子どもたちが放課後等に過ごす場として、あのねの森に来ています。

もともと一軒家だった建物を使っているので外観は普通のお家ですが、その中で日々いろいろな活動をしています。園内活動ではクッキングや制作、ゲームなどをして遊んだりしています。

また、外出活動もしていて、公共施設の利用や公園などで元気に遊んで来たり、電車体験や買い物体験などの社会体験をしたりもしています。

創意工夫し毎週違った活動を行っていて、子どもたちに楽しんでもらっています。

電車体験

公園遊び

クッキング

児童発達支援（未就学）～あのねキッズ～

３月に６人の卒園生を見送り、新しく４人のお友達を迎えてスタートしたあのねキッズ。４月にはなかなかママのそばを離れられなかった子どもたちも、少しずつ安心して遊べるようになってきました。どんな素敵な成長を見せてくれるのか、これからがとても楽しみです。

今年も季節毎のおでかけや親子行事など、様々なイベントを計画しています。感覚・運動あそびなどを中心とした普段の療育に加え、たくさんの経験を通して、どんなことにも楽しみながら挑戦できる心と身体を育てていけるようお手伝いをしていきたいと思っています。

スライム遊び

お花見

しゃぼん玉

久光製薬株式会社　久光製薬ほっとハート倶楽部　様
ありがとうございます

久光製薬会社　久光製薬ほっとハート倶楽部 様より寄付金をいただきました。

そのお金は子どもたちに楽しく遊んでもらえるように、いろいろな遊具などを買うのに遣わせていただきました。

右の写真はその一部です。

ショートステイ（短期入所）事業

平成２５年度より栄養士の配置によりご本人・ご家族への嗜好調査等を実施し、その方に合った献立を提供しております。月１回程度ショートステイ会議を実施し、全職員でより良い支援を目指しています。

相談支援事業所のサービス等利用計画の動きなどが本格的になってきたことで、将来の自立を目標にして定期的な利用が多くなってきています。特に週末の利用希望者が多くなっています。

宿泊に抵抗がある利用者さんに対しては、慣れるまでは夕食後に帰宅し、慣れてきたら宿泊するように支援しています。ご家族にとってもより安心して預けていただいております。

環境面の特色としましては、２段ベッドや畳のスペースがあります。特に人気の部屋は、２階にある隠れ家的な部屋です。利用時は毎回その部屋に泊まりたくて、順番待ちをしています。定員は１１名に対して夜間スタッフが２名（男女）と調理員・遅番職員の体制にて支援しています。ショートステイのニーズはありますが、なかなか利用する場所がない現実もあります。地域社会で支える面でも開かれた支援を提供していきます。

朝食、夕食
美味しいごはんを作ります。
「おいしかったよ！」の声で
毎日頑張れます。

行動援護・移動支援
居宅介護 等

最近は行動援護のご利用希望が多くなってきています。特にプール支援の希望が多い現状です。プールは年間を通じて支援しています。さわおとの森は、特に男性ヘルパーが多く、多様な支援を実施しています。

通院介助において、通院時の同行等も実施しています。

身体介護は、定期的な入浴や清拭等のサービスを実施しています。

月１回程度居宅支援会議を実施し、本人にとってどのような支援が必要なのかを、ヘルパー間にて常に情報を共有できるようにしています。

平成２６年度新体制です
（右から）
園　長　高橋繁夫
理事長　清野精維
副園長　齋藤純子
副園長　菅野桂子

さわおとの森　総務

法人内での事務全般の窓口となります。

また、今年新しく総務のメンバーに入りました小菅咲子（右端）です。

よろしくお願い致します。

塩釜市　ひまわり園

26 年度はニーズにこたえる支援を！

平成２６年度がスタートし朝から元気な声と笑顔があふれるひまわり園です。特に学童児は進級した喜びで、いきいきと活動している姿がまぶしいくらいです。今年度は定員が５名から 10 名に、又看護師配置により受け入れ幅が広がりました。今まで医療行為を必要とするご利用者様には利用制限があり、十分にご利用していただくことが出来ず、ご不便をおかけ致しました。

２６年度はご利用者様のニーズにお応えし質の高いサービスを提供出来ますよう職員一同、更なる努力を致しますので保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

～　塩竈市ひまわり園　園長　伊丹　正美　～

ひまわり園　職員紹介

千葉　直子
生活指導員

毎日とても楽しく過ごしています。元気一杯頑張ります。よろしくお願いします。

西村　彩花
看護師

まだまだ不慣れですが笑顔で頑張りますので、よろしくお願いします。

今年度は職員８名でのスタートとなりました。明るく元気な職員達です。より良いサービスが提供できるよう頑張ります！！

児童発達支援事業

前年度は、動物園や名取イオンモール内にあるピュアキッズという施設などへ遠足に出かけました。子どもたちは大型遊具で遊んだり、動物に触れ楽しみました。今年度も、様々な場所へお出かけを計画しています。ひとつひとつが良い思い出となるようにしていきたいと考えています！！

放課後等デイサービス

春のお花見から始まり、夏の流しそうめん、秋のお団子作り、年末にはお掃除体験し冬はチョコフォンデュと昨年度もひまわり園恒例の行事☆盛り沢山でした。また長期休みには、大衡村や泉区の公園、カラオケなど特別メニューで子どもたちの笑顔がはじけていました。今年度も沢山企画していきたいと思います(*^_^*)！！

宮城県産婦人科医会より寄付金を頂きました

今回、宮城県産婦人科医会のおぎゃー献金制度に申請し、寄付金を頂くことになりました。寄付金でテーブルや新しい玩具を買い、子どもたちも喜んでいます！！

下の写真は購入の一部ですが、課題や運動遊びに利用しています。

生活介護　「わのみ」

生活介護事業も５年目となりました、平成２６年度も充実した日中活動が提供できるよう、職員一同励んでまいりますので、宜しくお願い致します。

では、活動の様子を一部ではありますがご覧ください。

春になり暖かくなってからは、グループに分かれ、園芸作業や外部の清掃作業等意欲的にとり組んでいます。さわおとの森登り口の草花は活動の一環で植えました。いかがでしょうか？

通常活動の様子

＜園芸・清掃活動＞

＜お花見外出＞

＜電車体験外出＞

４月はお花見外出、電車利用の体験を行いました。外出はやっぱり楽しいもので、前日からワクワクッ、落ち着かない方もいらっしゃいました(;^ω^)みんな笑顔で楽しんできました～(^^♪

＜職員の紹介＞

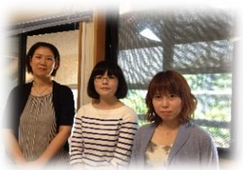
◇上段（左から）
- 高橋ルミ（たかはしるみ）
- 相澤順一（あいざわじゅんいち）
- 佐藤祥（さとうしょう）
- 平岡弘行（ひらおかひろゆき）
- 本田惣樹（ほんだそうき）

◇下段（左から）
- 小野寺智（おのでらさとし）
- 砂田元子（すなだもとこ）
- 千葉圭子（ちばけいこ）
- 車塚里穂子（くるまづかりほこ）
- 神山恭彩（かみやまさおり）

こども相談支援　つくしんぼ

つくしんぼって知っていますか？

こども相談支援つくしんぼは、現在、サービスの利用計画を随時作成しております。利用計画とは、ご利用者様一人ひとりの現状や個性に応じて、適切なサービスへおつなぎするために作成するものです。

この利用計画は、平成２７年４月より、サービスをご利用になるために必須となるものです。現在サービスをご利用になられている方、また今後サービスが必要となる方が、適切なサービスを安心してご利用できるよう、利用計画の作成を進めているところです。

今現在の基本的な流れとしまして、既にサービスをご利用になられている方は、受給者証の更新の時期に、今後初めてサービスをご利用されている方はサービスのご利用開始前に作成となっております。計画作成の際にはお住まいの市町村より、ご利用者様・ご家族様へ「計画相談」のご案内があります。ご案内の際に、お住まいの市町村にある相談支援事業所の情報についてもご確認いただき、ご利用者様・ご家族様で相談支援事業所を選択していただきたいと思います。また、随時、計画作成を進めているものの、なかなか追いついていないのが現状です。いただいたご依頼に、すぐにお返事が出来ずお待たせしてしまうこともありますが、何卒ご理解いただければと思います。